

総事業費	12,125 千円
交付金額	6,062 千円

地域の実情と課題

- 女性の就業率(72.1%)や管理的職業従事者に占める女性の割合(17.4%)など女性の就業等に係る指標は全国中位。
- 第一次産業が中心の南予地域、第二次産業が集積する東予地域、第三次産業が盛んな中予地域と地域ごとに基幹産業が異なる。
- 県内企業の99%以上が中小企業である。

【課題】

企業規模や地域性を鑑み、企業へのきめ細かな支援や、組織・業種の枠組みを超えた女性活躍の取組が求められている。

事業の特徴

愛媛県版イクボス「ひめボス」を柱として、女性の人材育成とトップの意識改革を一体的に展開を図り、相乗効果を生み出している。

事業の効果

ひめボス宣言事業所は900事業所以上となっており、働き方改革や女性活躍に対する意欲・関心が高まり、具体的な取組の促進につながっている。

目的・目標

- ひめボス事業所plus (plus+) 認定事業所数
令和4年度目標40事業所 → 55事業所

(中長期目標) 令和12年度まで 400事業所
→105事業所(R5.3.31現在)

ひめボス事業所plus 43事業所
ひめボス事業所plus+ 62事業所

連携団体

- えひめ女性活躍推進協議会
民間主導で設立され、経済団体等で構成されている。(県、松山市、金融機関はオブザーバー参加)
事務局である(一社)愛媛県法人会連合会と連携して事業実施に取り組んでいる。

今後の課題

ひめボス宣言事業所数は順調に増加しており、今後は、既宣言事業所での取組みの実効性向上が重要である。効果的な事業を展開するために、具体的な取組を促進するためのさらなる働きかけを行っていく必要がある。

事業の概要



◆ジェンダー平等に焦点を当てた取組み

【意識啓発】ジェンダー平等啓発推進事業

地域・家庭・職場・教育現場等のあらゆる分野において、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標SDGsゴール5「ジェンダー平等」の普及や、社会全体に存在する固定的役割分担意識やアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）の解消を図り、性別に関わりなく希望に応じた働き方や学び方を選択できるようにするため、「ジェンダー平等啓発フォーラム」や、職場・企業向けや学校関係者向けの分科会を開催。

【ジェンダー平等啓発フォーラム】

- 時期：令和4年6月29日（水）
- 参加者：146名（ライブ視聴29回※・アーカイブ視聴 講演275回、パネルトーク236回）
- ※四国中央市、今治市、八幡浜市、宇和島市では集合視聴実施（約100名参加）

【教育関係者向け分科会】

- 時期：令和4年8月8日（月）
- 参加者：小・中・県立学校の校長、教頭 37名
- 内容
 - 講義、グループワーク
 - テーマ「未来を拓く教育の実践～今まさにジェンダー平等が求められるワケ～」
 - 講師 河野銀子氏（山形大学 学術研究院教授）

【職場・企業向け分科会】

- 時期：令和5年1月30日（月）
- 参加者：57名
- 内容
 - 基調講演・グループワーク
 - テーマ「ジェンダー×女性のキャリア～子育ても仕事も頑張りたい部下を応援するために～」
 - 講師 武田佳奈氏（株）野村総合研究所 未来創発センター エキスパート研究員）

第27回 男女共同参画社会づくり推進県民大会

SDGs ゴール5
「ジェンダー平等」
啓発フォーラム
2022

27回目となる今大会は、人生100年時代を見据え、誰もがその時代の人生ステージで、希望に応じた生き方を選択できるよう、また、SDGsゴール5に設定されている「ジェンダー平等」を実現し、誰もが暮らしやすく働きやすい社会によるよう、みなさんで一緒に考える機会とします。

入場無料
託児・手話通訳あり
専用の申込フォームまたは事務局の申込書からご応募ください。

基調講演
地域社会におけるジェンダーギャップ解消に向けて

講演者 大崎 麻子さん
NPO法人 Gender Action Platform 理事
関西学院大学非常勤教授
内閣府男女共同参画推進専門調査会委員

パネルトーク
地域社会における私たちのジェンダー平等の実践

出演者
大崎 麻子さん（基調講演者）
松野 祐介さん（株式会社山形県産地産物振興センター 代表理事）
山本 由美子さん（NPO法人子育てネットワークふたりの代表理事）
榎本 陽子さん（松山東海女子大学 教授、愛媛県男女共同参画推進委員）

プロフィール
米国コロラド大学国際公共政策大学院修了。国際開発計画（UNDP）にてジェンダー平等と女性のエンパワメントを担当し、世界各地で女性の教育、雇用、起業、政治参加等のプロジェクトを手がけてきた。現在は、グローバルに活動する日本の現状を熟知するジェンダー専門家として、内閣府男女共同参画推進専門調査会委員、ジェンダーギャップ解消に自治体として積極的に取り組む兵庫県豊前市のアドバイザーを務めるとともに、次世代の若者がジェンダーについて学び行動するオンラインコンテンツ「ジェンダー」をサポートするなど、国際機関、政府機関、民間企業、NPO、大学、メディアなどで幅広く活動している。